

国際シンポジウム開催企画書

1、名称

国際シンポジウム「不処罰問題と従軍慰安婦」（仮称）

2、主催等

日本弁護士連合会

なお、日弁連主催で行った第2回国際人権セミナー「戦争と人権」（1992年12月10日）において、後援をした「太平洋戦争犠牲者に思いを馳せ心に刻む会」が、現在発展的に「日本の戦争責任資料センター」となっており、同センターより同じく後援について要請があれば、費用負担（150万円程度）を条件に許可する。

3、目的

国連人権小委員会の元議長でもあり、現在同小委員会の「不処罰問題」共同特別報告官としても活躍中であるルイ・ジョワネ委員（フランス大統領法律顧問、フランス最高裁判事）を、6月24日（金）～26日（日）の間、日本に招き、懇談するとともに国際シンポジウムを開催する。

- (1) 日弁連の国際的人権活動における地位を高め、国連人権委員会及び同小委員会の人権活動についての情報を得るとともに会員の理解を深める機会とする。
- (2) 国連人権関係機関との連携の強化を図る。
- (3) 第4回世界女性会議（1995年9月、於・北京）に向けて、その準備の一環として位置付ける。
- (4) 従軍慰安婦問題に関する国連の動向と今後の政府を含む日本としての

対応につき、情報を得て討議する機会とする。

4、講師等

ルイ・ジョワネ 国連小委員会元議長 他国連職員 1 名

5、日程及び内容

(1) シンポジウム

日 時 1993年6月25日(土) 午後2時～5時

場 所 日弁連会館 3階講堂 若しくは「日仏会館」

参加者(200名程度を予定、参加費無料)

シンポジウムは、関連委員会及び会員を中心に、国際法学者を含め一般の参加も呼び掛ける。

内容・講師(通訳は、専門の通訳を予定し、場合によってはフランス大使館の協力を得る。)

テーマ 「不処罰問題と従軍慰安婦」(仮題)

ルイ・ジョワネ 国連人権小委員会元議長

(2) 懇談会

日 時 1994年6月25日(土) 午後6時30分～8時

(夕食会を兼ねて行う。)

場 所 法曹会館(予定)

参加者(30名程度を予定)

ルイ・ジョワネ氏、同伴する国連職員

政府関係者(法務省、外務省、最高裁)若干名

正副会長及び事務総・次長 10名程度

人権擁護委員会等関連委員会委員 10名程度

内 容 * ルイ・ジョワネ氏を囲んで、国連人権委員会及び同小委員会等の活動について懇談。

* 費用については、連絡会議費から支出するか、会費制（7000円程度）とする。……総額20万円程度

* 通訳は、国際交流委員会等の協力を得る。

6、運営

至急準備をする必要から人権擁護委員会第6部会並びに世界女性会議参加準備ワーキンググループにて企画・運営を担当する。必要に応じて関連委員会より援助を求める。

事務局は人権課並びに広報・国際課が担当する。

7、シンポジウム経費 事業費の連絡会議費より支出し、不足分等については、会長の判断により国際人権基金より支出する。
なお、後援団体より150万円の援助金も含む。

* 支出総額 2,500,000円

(支出内訳)

(1) ジョワネ氏等2名旅費・宿泊費等	1,400,000円
(2) パーディエム（諸経費）	100,000円
(3) 会場費・同時通訳設備費等	700,000円
(4) 通訳費	210,000円
(5) 諸雑費	90,000円